「勧善懲悪」って何だ。

見る、知る、伝える千葉　創作狂言

里見八犬伝 ファイナル 最終章

令和４年１月８日（土）14時開演　青葉の森公園芸術文化ホール

全席自由（税込）
一般　2,100円
U-25　1,000円
小中高生　500円

※U-25は、小学生・中学生・高校生を除く２５歳以下の方が対象です。
※13時より座席引き換えを行います。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

第一部　レクチャー＆デモンストレーション

狂言「寝音曲（ねおんぎょく）」　出演：シテ　太郎冠者　小笠原 由祠
アド　主人　小笠原 弘晃

第二部　創作狂言「里見八犬伝　最終章」

作・演出　小笠原 由祠　　制作協力　千葉大学
出演　小笠原 由祠　小笠原 弘晃　能村 晶人　青山 郁彦　TAKAKO
加藤 充華　若菜の会　千葉大学学生　狂言体験講座参加者

狂言師　小笠原 由祠

プレイガイド：
インターネット予約　https://www.cbs.or.jp/aoba/
青葉の森公園芸術文化ホール　043－266－3511
千葉県文化会館　043－222－0201
千葉県東総文化会館　0479－64－2001
千葉県南総文化ホール　0470－22－1811

運営：見る、知る、伝える千葉～創作狂言～運営委員会

主催：
青葉の森公園芸術文化ホール
（公財）千葉県文化振興財団

後援：千葉県、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、館山市教育委員会、南房総市教育委員会

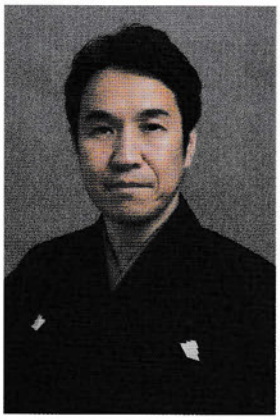
チラシデザイン：千葉大学法政経学部２年　髙橋 稜賀

beyond 2020

右の音声コードをスマホアプリ Uni-Voice で読み取ると音声情報でご確認いただけます。

新型コロナウイルスの感染予防について、座席配置などの会場の感染対策を講じます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

第一部	狂言「寝音曲（ねおんぎょく）」	太郎冠者の謡が上手いと聞きつけた主人は、太郎冠者に謡うよう命じます。今後何度も謡わされることになるのはたまらないと考えた太郎冠者は、「酒を飲まなければ謡えない」と嘘をつきますが、酒を飲まされてしまったので、今度は「妻の膝枕でなければ謡えない」と答えました。すると主人は、自分の膝を貸すと言い出して……。 謡をめぐる主従のやり取りをお楽しみいただくとともに、横になっても見事な謡を披露する狂言師の技量にもご注目ください。
第二部	創作狂言 「里見八犬伝 最終章（ファイナル）」	本作は、江戸時代後期に曲亭馬琴（きょくていばきん）によって著された長編小説『南総里見八犬伝』を題材とした創作狂言です。 荒芽山の戦いで仲間を見失った犬飼現八（いぬかいげんぱち）は、上野国庚申山の庵で暮らす犬村（いぬむら）角太郎（かくたろう）と出会います。自分と同じ痣がある角太郎に、現八は彼もまた同じ宿命を持つ義兄弟であると直感しますが、角太郎は妻や家族との間に確執を抱えていました。 一方、大法師（ちゅだい）は、結城合戦で亡くなった武将のために、古戦場で法要を行ないます。ところが、その話を聞いた近隣の僧が攻めてきて……。 創作狂言「里見八犬伝」シリーズが、ついに完結します。「勧善懲悪って何だ。」と問いかけ続けてきた物語の結末を、ぜひ見届けてください。



小笠原（おがさわら） 由祠（ただし）

能楽師狂言方和泉流　公益社団法人能楽協会会員
日本能楽会会員　重要無形文化財総合指定保持者

1965年生まれ。初世 野村 萬(人間国宝)、故8世 野村万蔵、9世 野村万蔵に師事。

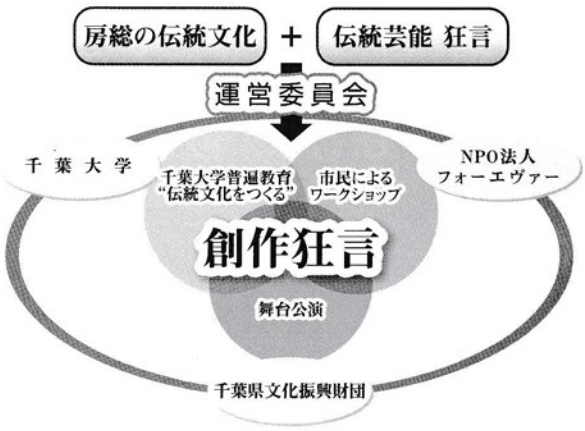
狂言の大曲「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」「花子」を披く。2006年より「見る・知る・伝える千葉～創作狂言～」をプロデュース、毎年千葉県の神話・民話・風習を創作狂言に劇作・演出。ＮＨＫ大河ドラマ「義経」、金曜時代劇「出雲の阿国」芸能指導、朝の連続テレビ小説「カーネーション」「ごちそうさん」所作指導。2012年より桃山学院大学地域連携共同研究プロジェクト「中近世の日本とイタリアにおける仮面喜劇の生成発展と現代的実践について」にて、毎年ヴェネツィア大学で狂言とイタリア伝統仮面劇「コンメディア・デッラルテ」のシンポジウム、ワークショップ、公演を行う。2016年よりパリ日本文化会館にて年3回「伝統の継承」を企画プロデュース。

現在、萬狂言関西支部代表。ホームページ https://atelier-oga.com/

「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」プロジェクト
～古くて新しい伝統文化への取組み～

房総に伝えられてきた民話や伝承をもとに、和泉流狂言師小笠原由祠、千葉大学、千葉県文化振興財団、県民などで新たに創り上げてきた狂言の舞台です。千葉大学、NPO法人フォーエヴァー、千葉県文化振興財団で運営委員会をつくり運営を行っています。

これまでに「千葉笑い（千葉市）」「羽衣伝承（千葉市）」「鬼来迎（横芝光町）」「ヤマトタケル伝承（千葉県広域）」「八幡の藪知らず（市川市）」を題材に狂言を創作し、上演してきました。



〒260-0852 千葉市中央区青葉町977番1号 TEL043-266-3511

交通案内

【JR千葉駅東口より】・2番のりば　星久喜台経由「ハーモニープラザ」下車 徒歩約8分
・7番のりば　「中央博物館」下車 徒歩約10分

【JR蘇我駅東口より】・2番のりば　大学病院行「芸術文化ホール」下車 徒歩約5分